



12月アトリエ公演2023より

ごあいさつ

舞踊団の成長

一般財団法人 黛民族舞踊文化財団

理事長 三隅 治雄

年ごとに姿を変える赤坂の街。その一角に不動の志をもってビルを建て、新たな舞踊世界の創造に身命を賭した黛節子師。アジアの朋友を誘^{いざな}っての構想の大は、世人の驚倒を呼ぶものでした。

没後、その赫々の遺業を継承する門弟の責務は重く、苦闘が続きましたが、先頭に立つ黛琉美師が節子作品の更なる洗練と次代の若芽の育成に碎身し、その成果が、舞踊団員の増加、技術の向上などに現われてきたのが、嬉しい収穫でした。

令和5年3月のアジア民族舞踊交流会、同年6月の新宿芸術家協会公演、12月の黛アートサロンの自主公演と観客の注視を受けることで、身体が輝き、技が磨かれる。舞踊団の成長は、サロン公演の頻度で倍増すると念じる私ですが、一方の懸念は、サロンを支えるビルのメンテナンスです。国立劇場が改築に難渋しているとき、それより古いわが方は事務局の懸命の働きで万全を期しております。

舞踊団・ビル一体の財団運営に、お心を寄せていただければさいわいです。

黛民族舞踊団 12 月アトリエ公演 (令和 5 年 12 月・会場 黛アート・サロン)

「星と風と海からきいた ～日本の民踊～」

今回の作品は、黛節子舞踊団が約 50 年前の 1975 年 11 月に日生劇場で上演した作品「昭和 50 年度文化庁芸術祭参加 黛節子舞踊りサイタル」の第 1 部を再創造しました。当時のプログラムとモノクロの映像資料を基に衣裳・音源を掘り起こし、振りには先輩方から指導を受け、現代の舞手による黛節子作品の不变の魅力を感じさせる公演となりました。

MAYUZUMI TRADITIONAL FOLK DANCE COMPANY
THE WHISPER FROM THE STARS, WINDS AND THE SEA

星と風と海からきいた
日本の民踊

黛民族舞踊団 十二月アトリエ公演 2023

The revival of the old-time folk songs with the unique interpretations
by Mayuzumi Setsuko.

公演日時 令和5年 12月9日(土) 10日(日)
両日ともに開演 14時 / 17時 開場30分前

会場 黛アート・サロン

出演 黛民族舞踊団

 代表 黛琉美 Director Mayuzumi Rumi	 黛真也 Mayuzumi Mayu	 黛李穂 Mayuzumi Rihō	 黛圭 Mayuzumi Kei
 花柳翁麗 Hanayagi Orei	 小山羊子 Koyama Yoko	 野村陽子 Nomura Yoko	 長田珠澄 Osada Misumi
 松山純子 Matsuyama Junko	 茉矢 Mayu	 友情出演 高倉龍和 Guest Appearance Takakura Ryūwa	

スタッフ
監 演 小笠原 陽子 (株) エフサード総務
舞台監督 越中 康宏
衣 装 駒場 花枝
音 楽 田中 文太郎
振 舞 紺本 菜巳
主催・制作 一般財団法人 黛民族舞踊文化財団

演出・振付 黛節子 黛琉美

音楽 黛節子制作音源

演目

- 一、相川音頭・・・・・黛真也 黛圭 花柳翁麗
- 二、牛深ハイヤ・・・・・小山羊子 野村陽子 長田珠澄 松山純子 茉矢
- 三、博多節・・・・・黛李穂
- 四、ヒエツキ唄・・・・・黛圭 長田珠澄
- 五、雨乞い～宗方万行・・・・・黛李穂 小山羊子 野村陽子 長田珠澄 茉矢 高倉龍和
- 六、千鳥啼く・・・・・黛真也 黛圭 花柳翁麗 松山純子
- 七、夜明け・・・・・花柳翁麗 小山羊子 野村陽子 長田珠澄 松山純子 茉矢
- 八、黒島口説・・・・・黛真也 黛李穂 黛圭 花柳翁麗 小山羊子 野村陽子 長田珠澄 松山純子 茉矢

アトリエ公演魅力発見

民族舞踊の精神、表出溢れ

伊藤 好英

佐渡・九州・沖縄の星と風と海から聞こえてくる八つの民踊^{うた}の舞踊化を、黛節子は、沖縄復帰の三年後、沖縄海洋博のただ中の1975年11月、日生劇場でのリサイタルで試みた。8作品のうち沖縄のうたが3つあるのは時代の反映ではあるが、彼女の沖縄の悲惨な過去への想いと、未来の活力を望む気持の表出でもあった。そのリサイタルから50年近くが経っての、黛民族舞踊団によるその再現には、節子が築きあげた民族舞踊の精神が十分に溢れていた。団員の持続的な熱意の賜物である。加えて高倉龍和の友情出演は、本団の新たな可能性を垣間見せるものでもあった。（藝能学会会長）

節子先生の匂い、そしてもうひとつ

丸茂 美恵子(祐佳)

8演目すべて黛節子先生の振付・演出で揃えた今回は、昔、日生劇場で公演したレパトリーの一部だそうです。パワフルな振りと節子先生考案の斬新な衣裳が融合し、序破急に並べた番組構成は心に響くものがありました。団員たちもむずかしい身体使いをこなすのに頑張ったことでしょう。久々に節子先生の匂いのするアトリエ公演でした。赤坂の一等地に立つ黛アートサロンはインバウンドを狙って、外国人が「ここに来ればいつでも日本の民族舞踊がみられる」という拠点になり得ると思います。ぜひ実現していただきたいと願っています。（舞踊研究評論/桜美林大学特任教授）

舞踊団らしい洗練と躍動

児玉 信

今回取り上げた8曲は、黛節子さんのご存命中に日生劇場で公演した折のプログラムの一部ということであった。『博多節』『黒島口説』のほかは器楽曲によるが、曲のアレンジメントや振付に舞踊団らしい洗練と躍動を感じて、今更ながら黛節子さんの仕事の大きさを偲んだことであった。その風合いの違いを楽しみながら、一方で、歌詞を伴わない曲が多く、「星と風と海から聞いた“うた”」というタイトルが必ずしも生きなかったのが、ちょっと惜しまれた。

（能楽研究評論/邦楽プロデューサー）

アンケートより

全体にはつらつとした、ダイナミックなダンスシーンの多いなか、「博多節」の衣裳・はき物に旅芸人の情緒と哀愁がにじみ、また、宮崎・椎葉地方のひえつき節の編作曲が奏功してユニークな創作が生まれ、山里人の労作と生活風俗が美しい振付で表現されていました。この二作品は、是非もう一度ゆっくり拝見したい。ヒエツキ唄の踊り上手・黛圭さんは、この公演を持って舞踊団を退かれる由、残念。次世代奮起の「ヒエツキ唄」を。

（横浜/H・T）



博多節



ヒエツキ唄

一、相川音頭 「佐渡おけさ」とともに佐渡民謡の双璧をなす「相川音頭」。その昔、佐渡に流された流人達によって唄い出されたと
いわれる。歌は源平の戦いを唄った語り物だが、その中に流れる流人達の哀愁と哀感をとらえて舞踊作品化した。



二、牛深ハイヤ 熊本牛深地方に伝わる騒ぎ唄の一種。鹿児島のはんや節や津軽地方に残るあいや節と同系列のもので、日本海沿岸に点在するこれらの歌は、船乗り水夫達によって唄いつがれ変遷してきたものと言われる。



三、博多節 黛節子は切りつめた少ない動きの中に、門付芸の面影を残しながらも品のある舞踊美の表現を試みた。
歌詞の情趣が所作に結晶する。



四、ヒエツキ唄 宮崎県椎葉村地方で、常食とされた稗を臼に入れて杵で搗きながら唄った労作歌「稗搗節」。この作品では原曲の
もつメロディーに触発され、労作の様々を振付し新しい感覚で所作が工夫された。



五、雨乞い ～宗方万行～雨乞いは日照りに耐えかね雨の恵みを乞い願う、農民の切実な祈りであった。念仏風流踊として再構成。



六、千鳥啼く 黛節子は沖縄島に深い思いを寄せ続けてきた。ひめゆりの塔、あえなく散った若き乙女達への鎮魂の祈り。琉球歌三線の名曲「浜千鳥節」の望郷の哀切感をアレンジし、黛節子の沖縄レクイエムとした。



七、夜明け 甦えった平和の息吹。希望に満ちた夜明けの情景に託し沖縄のカチャーシー舞いのリズムに乗せて……。人間は輝く。



八、黒島口説 日常の生活があまりにも苦しいとき、人間は歌と踊りに苦しみを発散させてきた。しかし今ここに唄われる太陽への賛歌は、現実、今を生きることを喜びとして、唄い踊られる。口説という五・七調の言葉とリズムカルな旋律が、底抜けに明るい南の島の人と風土と生命力を自然に描き出し、自然に群舞作品化された。



新宿芸術家協会が主催する多ジャンル舞踊公演。黛民族舞踊団は2017年よりご縁のもと毎年参加しています。第一部は自由な発想による作品集(ダンス・リベルテ)、第二部はテーマによる創作作品集で構成されています。今回のテーマは「道を踊る」黛民族舞踊団は第二部に出演し、「花念仏」を披露しました。

「花念仏」 遊行の旅の念仏衆、救いの道はお念仏。跳ねばはねよ、踊らばおどれ、
衆生の打つ鉦^{かね}ありがたやー。 黛 節子が創作した今様の踊念仏作品。

「新宿芸術家協会」は、1990年新宿区在住の舞踊家有志が新宿の芸術環境を良くする会を作るために集い翌1991年、“新宿の芸術を育てる会”として発足。政治・経済・商業の中心である新都心新宿から新しい芸術文化の発信と普及を目的とし“新宿芸術家協会”と名称を改めて活動を開始。2006年からは、テーマによる舞踊創作作品を上演するなど、多ジャンルの舞踊家による特色ある舞踊公演を開催しています。

道を踊る The Dance Gathering Vol.26

第1部 ダンス リベルテ(自由テーマ作品集)

- 小池乃愛 「早春歌」【モダンダンス】 振付:渡邊美紀
小池乃愛
- 樋口茉祐 「残っていた景色」【モダンダンス】 振付:庄司恵美子
嵯峨星
- 四方美紗江 「^{わらぼうし}藁帽子」【中国舞踊】 振付:四方美紗江 鈴木恵子
鈴木恵子 四方美紗江
- 小林伴子 「triángulo (三角形)」【フラメンコ】
小林伴子(踊り) / 山崎まさし(ギター) / 大淵博光(歌)

ゲスト出演

- モダンディーズ 「佇む男」【現代舞踊】 振付:中村隆彦
石井 登 市井 孝 高谷大ー 武井一仁 東 秀昭

第2部 道を踊る

- 雑賀 淑子 「道」～谷川俊太郎の詩による～【バレエ】
雑賀淑子(朗読) / 松尾慧(笛) / サイガバレエ(バレエ)
- 黛民族舞踊団 「花念仏」【日本民族舞踊】 振付:黛 節子
黛 真也 黛 李穂 黛 圭 他 黛民族舞踊団
- 曲沼 宏美 「巡礼」【Creation dance of Asia】
曲沼 宏美
- 小林 祥子 「デジャヴ～記憶～」【現代舞踊】
五十嵐美和 尾高有美 小林 祥子
- 鈴木 恵子 「龍神の道」【鳳仙功舞踊】
鈴木 恵子
- 池田 瑞臣 「遥が彼方へ」【現代舞踊】
小田 みさえ
- サトウ 雅子 「アクバルへの道」【インド宮廷舞踊カタックダンス】
松波ひとみ 三上桂子 由井園子 サトウ 雅子
- 大谷 けい子 「静の道」【ダンスネオシノワーズ】
大谷 けい子(踊り)
岩田 桃楠(津軽三味線) / 玉置 ひかり(篠笛) / 水内 宏之(映像)



令和6年度 黨民族舞踊団公演情報(令和6年4月現在)

【自主公演】

12月6日(土)・7日(日)

黨民族舞踊団12月アトリエ公演2024

会場：黨アート・サロン

詳細：準備調整中



【参加公演】

6月20日(木) 新宿芸術家協会主催公演

The Dance Gathering Vol.27「祭の刻」

演目：越中おわら(黨民族舞踊団)

チケット：自由席 前売 4,500 円

会場：四谷区民ホール

当日 5,000 円

時間：開演 19:00(会場 18:30)

チケットのお求めは財団事務局までご連絡下さい。



舞踊団員募集のお知らせ

日本の伝統舞踊を学び、舞台上で踊ることに興味がある方は、ぜひ稽古見学や体験レッスンに参加してみてください。黨民族舞踊団では、現地の民俗芸能を基に舞台芸術化した作品を継承し、創造しています。団員は現在16名で活動しており、新しい仲間を募集しています。舞踊団員として活動することで、日本の伝統芸能を学び、技を磨くことができます。また、舞台でのパフォーマンスを通じて、自分の表現力を高めることができます。

詳細は、財団事務局にお問い合わせください。一緒に民族舞踊を学び、黨民族舞踊団の舞台上で踊りましょう！

稽古場：黨アート・サロン(地下鉄 赤坂見附駅 徒歩2分)

稽古日時：毎週月・火・木曜日 18:00 から 21:00

問合せ先：黨民族舞踊文化財団事務局

TEL 03-3583-3633 / FAX 03-3583-3639

E-mail info@mayuzumi.or.jp

home page





令和5年12月アトリエ公演記念写真

一般財団法人 民族舞踊文化財団のあらし

当財団は、わが国伝統の民俗舞踊を舞台芸術として確立し、その普及向上を図るとともに国際文化交流を行うことを目的として、昭和61年3月文部大臣から設立を許可された団体です。財団設立後は、(1)民族舞踊普及向上のための中央における公演をはじめ、地方巡回公演を活発に行ってひろく一般にこれを紹介し、また研究成果の発表会等を開催し、(2)後継者の育成を目的として民族舞踊の研究者(音楽、振付けを含む)、舞踊家のための研究会、研修会等を開催して創作活動を奨励すると共に技能の向上を図り、(3)日本各地および東南アジア諸国の民俗芸能を取材し、その研究を行うと同時に収集した資料を整理保存して一般にこれを提供し(将来は資料館を設置して一般の利用に供することを計画しています)また、(4)世界各国にはそれぞれ民族舞踊団が国家の庇護のもとに活動していますが、これらの舞踊団との交流や、東南アジア諸国の民俗芸能伝承者たちとの交流等、幅ひろい国際交流を推進して相互の連携と研鑽につとめ、(5)民族舞踊、民俗芸能に関する資料および研究成果等の出版物を刊行して、民族舞踊に対する理解を深める目的達成のため、年次を追って事業を充実していきたいと考えております。しかしながら、事業を発展充実させていくためには、何と申しましても経済的基盤を確立する必要があることを痛感いたしております。当財団が、真にわが国を代表する民族舞踊の振興団体として育ってまいりますよう、財団の事業目的を御理解くださり、各界の方々の御支援を心からお願い申し上げる次第です。つきましては、当財団には下記の通り賛助会員規程を設けておりますので、皆様にはぜひ賛助会員として、会費により御支援を賜りたく、お願い申し上げます。

民族舞踊文化財団 賛助会員規程

一、賛助会員とは、この法人の趣旨目的に賛同して入会くださった個人・法人(団体)の方々の名称です。

二、会費寄付の内容は下記の通りです(但し、年間会費として扱わせていただきます。)

ア、個人の場合 個人会員……………五千元以上

特別個人会員……………十万元以上

イ、法人の場合 法人(団体)会員……………十万元以上

特別法人(団体)会員……………百万円以上

三、賛助会員の特典

ア、特別会員(個人・法人)

① 年一回以上公演全ての切符御一名様御招待

② 「財団の宴」など種々の行事に御招待

イ、会員(個人・法人)

① 年一回以上公演全の切符御一名様御招待

なお、御入会くださいます方は、賛助会員会費寄付申込書に御記入の上、御返送いただきたく存じます。賛助会員会費寄付申込書は、当財団宛に御請求ください。領収書は、銀行にお振り込みいただいた後、お送り申し上げます。

民族舞踊文化 No.36 令和6年(2024)5月21日発行

発行人 三隅治雄 編集 民族舞踊文化財団事務局

THE MAYUZUMI FOUNDATION FOR TRADITIONAL FOLK DANCE

一般財団法人 民族舞踊文化財団

MAYUZUMI BLDG., 3-10-3, AKASAKA, MINATOKU, TOKYO, JAPAN

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-10-3 黛ビル4F

TEL 03-3583-3633

E-mail info@mayuzumi.or.jp

FAX 03-3583-3639

URL http://www.mayuzumi.or.jp